



# 楽しかったクラブ活動



今年度は、8つのクラブが発足しました。一年間、それぞれのクラブの児童が、異学年間の交流を大切にしながら毎回充実した活動を行ってきました。

2月8日～12日までは、クラブ発表週間でした。今年度は展示発表・ビデオ発表で、一年間のがんばりを紹介することができました。

今回は、各クラブの代表による一年間の取り組みや感想などを紹介します。

ぼくは、今年度科学クラブの部長として、2年間続けてきた知識を生かしながら活動してきました。ぼくは理科が好きなので、4年生の時に科学クラブに入りました。最初は、何をすればいいのかわからなくて心配だったけれど、グループの上級生が教えてくれました。5年生の時には、4年生のころの経験を生かし、4年生に教えることもできました。今年は、新しいことをするようになり、水に浮かぶ絵など初めてやる実験が多かったけれど、作り方をちゃんと見てみんなに教えることができました。部長として今まで経験してきたスライム、ふちんし、ろうそくなどの作り方のほかにも安全に活動するための注意についても伝えることができました。コロナの影響でできることは少なくなりましたが、それを忘れるくらいみんなと楽しくできたので良かったです。



(『科学クラブ』佐藤 宏樹)

ぼくは今年初めて卓球クラブに入りました。だから卓球台などの組み立ても知らずどのようにみんなをひっぱっていくか悩んでいました。それでも卓球クラブ経験者の6年生たちに準備のやり方などを教えてもらい、みんなをひっぱっていくことができました。その中でもチームワークを高めるためにラリーや試合をするチームを毎回変えていろいろな人と交流する機会をつくることができました。また、いろいろな人と交流することで、うまい人の技術などを知ることができました。これからもチームばつぐんの卓球クラブでいてほしいと思います。



(『卓球クラブ』矢上 大空)

私は今年、バドミントンクラブで部長を務めました。私は3年間、バドミントンクラブに入ったので、ルールや練習方法は分かっていましたが、話し合いの進め方や4・5年生のまとめ方など、初めてのことがたくさんあり、少し不安でした。でも、6年生達と協力して、うまくこなしていくことができました。バドミントンクラブでは、初心者も経験者も楽しめるように、それぞれのチームの強さを均等にして、チーム内でのラリーの練習や、チーム対抗試合をしています。そうすることで、クラブ全体の仲が深まり、今年のバドミントンクラブのめあてである「みんなで楽しく協力して、最強なチームワークにしよう」を達成できたと思います。来年の6年生や、クラブに入る4・5年生達が楽しく活動してほしいと思います。



(『バドミントンクラブ』澤 優月)

私は、今年初めて造形クラブに入りました。造形クラブでは、自分の物だけでなく、みんなの作りたい物を考えて工作しました。みんなの家にある段ボールや公園に落ちている木の枝をうまく使い、さまざまな工夫をして作品を完成させました。私が一番思い出に残っているのは、ねん土の工作です。みんなでどうしたら形を整えられるかなどを話し合えたからです。また、私は副部長としてクラブ活動をリードする立場でした。最初はなかなかうまく進められなくてみんなに助けをもらいながら進めていきました。ですが、だんだんみんなのお助けも減り、うまくクラブの流れを伝えられるようになりました。みんなが楽しく工作するうちに仲が深まったと思います。来年の造形クラブも、みんなが楽しめるようなクラブにしていってほしいです。



(『造形クラブ』高橋 心乃)

僕は、今年初めてできた縄跳びクラブの部長になりました。コロナが流行する中、人と人との間をあける、手洗いをしっかりする、マスクをするという感染症対策をして、今年1年取り組みました。縄跳びクラブは、学年関係なくどんどん教え合って練習し、色々な技ができるようになっていきました。教え合うことと練習することで、全体のレベルがどんどん上がっていきました。僕も今年の始めは、二重跳びができなかったけど教えてもらいさらに練習を重ねできるようになり、楽しかったです。その他にも、クラブの運営について1人で話を進めるのが、難しかったけど、他の6年生や先生方が僕をサポートしてくれて、運営がスムーズにいくことが多かったです。僕は、この1年部長になってよかったなと思いました。来年も部長を中心にみんなが協力し合って縄跳びクラブを盛り上げて行ってほしいです。

(『縄跳びクラブ』細川 瑠矢)



パソコンクラブは今年、新しくできたクラブです。ぼくはプログラミングが知りたくてパソコンクラブに入りました。昨年はなかったクラブなので、どのように進めればよいか等、いろいろと分からないこともありました。しかし、副部長や他の6年生が教えてくれたおかげで活動がスムーズにでき、自分に自信ができました。そこからは、6年生として、みんなに声をかけたり教えたりすることができるようになりました。そして、どんどん会話が増え、どんどんクラブの活動が楽しくなりました。パソコンを使った活動は、キーボードを速く打てるように練習するタイピングゲームをしたり、発表用のソフトで面白いスライドを作ったりしました。iPadを使った活動もしました。学校の中で起きた出来事を撮影したり、自分たちでストーリーを考えて撮影したりしました。そしてそれを編集して動画を作りました。4・5・6年生と一緒に活動し、協力して行うことができました。

(『パソコンクラブ』寺田 圭佑)



私は、2年間イラスト関係のクラブに入っていました。最初に入ったのは4年生の時でした。そのときは、6年生に勧めてもらい、時間内に絵を描いているだけでした。6年生になって、部長になると、今回のクラブで何をするか聞いたり、クラブ発表会の司会をしたりと、たくさんする事があって大変でした。絵画クラブでは人気のアニメの絵を描いたり、オリジナルキャラクターの絵を描いたりしました。クラブ内の他学年とも絵を描き合ったりできて、とても楽しく活動できるし、仲良くなれました。友だちに、「すごい!」「また描いて!」と言われ、絵をますます好きになれました。4年生も、最初に比べればとても上手になりました。今年の5年生も来年は6年生になり、部長として、絵画クラブを支えて行ってほしいです。

(『絵画クラブ』木元 奏波)



私は調理・手芸クラブで2年間活動してきました。6年生が私しかいない中、初めての部長となり、心細く不安でいっぱいでした。でも5年生と一緒に協力してくれたので部長として、みんなが楽しめるクラブにできたと思います。また、私自身もクラブのみんなと協力して楽しく一年を過ごすことができ、改めてこのクラブでよかったと思いました。手芸では、一人一人が家族のためや自分のために作った作品のおひろめ会をしました。「すごい!」や「どうやって作ったの?」など会話が弾み、他学年との交流を深めることができました。今年は残念ながら感染症のため調理はできませんでしたが、手芸だけでも交流が深まり、クラブを楽しむことができました。これからもみんなと協力し合って笑顔あふれる調理・手芸クラブを楽しく盛り上げて行ってほしいです。



(『調理・手芸クラブ』森 心優)